

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年8月2日 水曜日

## メキシコシティだけどAutonomous Databaseの時刻が違う

日本に住んでいるとあまり夏時間（DST - Daylight Saving Time）を意識することはありませんが、国によっては影響があります。

メキシコは今年から夏時間がなくなっています。そのためオラクル・データベースのタイムゾーン・ファイルが更新されていないと、時刻が1時間遅く表示されます。

```
select systimestamp at time zone 'America/Mexico_City', systimestamp at time zone '-6:00'
from dual;
```



適用されているタイムゾーン・ファイルを確認します。

```
select * from v$timezone_file;
```



以下のドキュメントの手順に従って、タイムゾーン・ファイルをアップデートします。

### Manage Time Zone File Version on Autonomous Database

<https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/autonomous-database/adbsa/manage-time-zone-file-version.html>

日本語

<https://docs.oracle.com/ja-jp/iaas/autonomous-database-shared/doc/manage-time-zone-file-version.html>

データベース・アクションのSQLから実行します。

```
BEGIN
  DBMS_CLOUD_ADMIN.ENABLE_FEATURE(
```

```
feature_name => 'AUTO_DST_UPGRADE');
END;
/
```

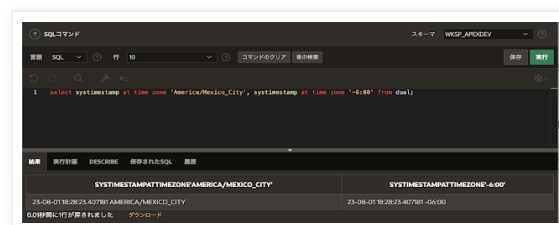


データベースを再起動します。

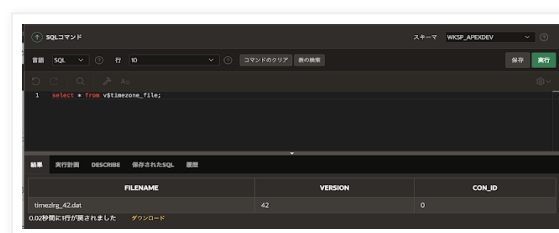


たまたまなのかもしれませんが、再起動に5分以上かかりました。大体は1分前後で再起動は完了するので、気を付ける必要があるかもしれません。

再度、メキシコシティの時刻を確認します。今度は-6:00と同じ時刻になっています。



タイムゾーン・ファイルはtimezlg\_42.dat、バージョンは42になっています。



マニュアルには、その他の操作についても説明されています。

突然、Autonomous Databaseの再起動（または起動）に時間がかかるようなことが好ましくない場合は、タイムゾーン・ファイルのアップグレードを行なうときだけ、AUTO\_DST\_UPGRADEを有効にするのが良いように思います。

```
BEGIN
  DBMS_CLOUD_ADMIN.DISABLE_FEATURE(
    feature_name => 'AUTO_DST_UPGRADE');
```

END;  
/

完

[Yuji N.](#) 時刻: 9:43

共有

---

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

[Yuji N.](#)

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---